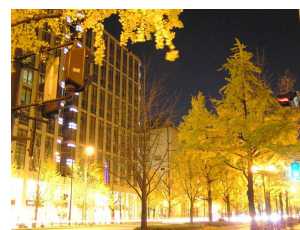




主題：「響き合い、ともに歩む」

“Walk Together, Echoing Each Other”



御堂筋イチョウ並木の夜景

— 心豊かにワイズ活動を展開し、ワイズスピリットをつないでいく —
— Promote the Y's movement thoughtfully and hand down the Y's spirit —

これまでも述べてきたことですが、ワイズメンズ運動は、YMCAや地域社会・国際社会への奉仕活動を通じて自己を鍛える機会と交流の喜びを得ることに大きな意義があり、社会的必要性もある、ワイズメンズ運動はまた、自分自身はもちろん、周りの人たちをも勇気付け励ます大きな働きをしている、と確信しています。私たちのワイズメンズ運動は、次世代を担う人々をも励まし続ける貴重な活動であり、これを次世代につなげてゆかなければなりません。そのためには、周りの人たち、特に、次世代を担う若い人たちに、ワイズメンズ運動を、まず、身近なものとして感じ取ってもらう機会を作らなければなりません。周りの人たち、特に若い人たちをクラブ例会やクラブ行事に誘い、私たちのワイズメンズ運動に馴染んでもらいメンバーとなって貰うための工夫が必要です。クラブ例会を多数参加の盛り上がりのある集いとするこの工夫も大事かと思えます。このような機会を作る工夫のひとつとして、西日本区内の各地・クラブにおいて、100人例会や合同例会を開催してビジターを誘い、例会プログラムをワイズと一緒に楽しんで頂く催しが行われています。例会参加者数が多いことは、そのことだけでも、ビジターに対し、参加したことの喜びを大きなものとさせることに繋がります。

先月、我々の仲間二人の力強い社会的活動がテレビ番組に取り上げられ報道されました。福岡中央クラブメンバーであって、1987年、享年68で人生の終末を迎えられた杉山龍丸さんのインドにおける緑化運動を取り上げたテレビ東京系11月4日（火）午後7時からの報道番組「ありえへん∞世界<世界と日本の知られざる絆>インド編」がその一つ。二つ目の報道は、鳥取クラブメンバーである藤原和寛さんの、故郷・鳥取県智頭町における地方活性化のためのお働きを取り上げたテレビ朝日系11月15日（土）午後6時からの報道番組「人生の楽園 夫婦で探す故郷の宝」です。藤原さんは、かつて農業で栄えた自分の故郷が次第に衰退していく様子に胸を痛め、故郷をもう一度元気にしたいと5年前、52歳で早期退職し、奥さまと一緒にUターンして、地元の杉を使った木工を始めるとともに農業にも取り組み、地域の活性化につなげるため、廃校となった地元小学校の校舎にギャラリーをオープンし、また、地元の方々と男子会や女子会をもって懇親するとともに集落の未来へ向けた話し合いをするなどして、地域の活性化のため、日々奮闘しておられます。藤原さんの地元・智頭町でのご活躍は他の地方の人々にも映って日本のあちこちの地方の方々を勇気づけ励ますでしょう。これらの報道ではお二人がワイズメンであることには触れられていませんが、私たちは、お二人の社会活性化のための力強いお働きに勇気を貰い、これからのワイズメンズ運動を盛り上げて行こうではありませんか。

西日本区理事 松本 武彦





12月の強調月間 EMC-E・YES

E は Extension (新クラブ設立)。YES は、新クラブ設立を支援する基金です。この献金で集められた資金の 2/3 は、集められたエリアに戻され、エリアの中で使われます。

E(エクステンション・新クラブ設立)M(メンバーシップ・会員間の交流 親睦 新会員の獲得)C(コンバージョン・クラブの基盤 健全な維持 存続と意識の高揚)とあります。

E・YES を達成するためには下記の事が重要になって来るのではないのでしょうか。C が基盤で M がありその上に E が乗ると考え C 基盤→規律の有る例会作り(時間厳守・プログラム構成・司会進行の重要さ等)M 親睦→メンバー増強は親睦からだと思っております。クラブレベルでメンバーゲストに合う誘い方等を模索して頂き参加しやすい環境を作るのも大事で、まずは慣れてもらう事から始めましょう。そこからは皆様のワイズ力で・・・

EMC事業主任 河原正浩 (京都トップスクラブ)

今月の聖句

マリアは月が満ちて、初めての子を産み、布にくるんで飼い葉桶に寝かせた。
宿屋には彼らの泊まる場所がなかったからである。

(ルカによる福音書2章7節)

聖句黙想

クリスマスに期待するのは、愛の物語かもしれません。クリスマスに起こる奇跡物語には心躍ります。しかし福音書の描く降誕物語はイエス・キリストの生涯全体を暗示する序曲なのです。貧しく、差別され、頼るものがない人たちに天からの光が当たるお話です。そして聞く私の腕の中にも、幼子が託されるのだと語りかけます。神からの宝を受けとる、自分という粗末な産着を見るな、幼子が私をどこに連れて行くのかを見なさいと。神が共にいてくださる、私たちの物語が始まります。

西日本区チャプレン 江見 淑子

◇ 周年記念例会情報 (2014年10月19日現在)

- | | | | |
|---------|------|---------------|--------------------------|
| ・和歌山 | 65周年 | 2014年12月6日(土) | グランヴィア和歌山 (12:00-15:00) |
| ・鹿児島 | 25周年 | 2015年2月14日(土) | ジェイドガーデンパレス 2階 |
| ・神戸メネット | 50周年 | 2015年3月14日(土) | 神戸外国倶楽部 (14:00-16:00) |
| ・熊本むさし | 20周年 | 2015年3月22日(日) | |
| ・京都トップス | 20周年 | 2015年4月5日(日) | ウエスティン都 |
| ・東広島 | 20周年 | 2015年4月26日(日) | |
| ・京都エイブル | 25周年 | 2015年5月16日(土) | 京都ホテルオークラ |
| ・岡山 | 50周年 | 2015年5月23日(土) | 岡山国際交流センター (13:00-17:00) |



◇ 今期メネット事業国内プロジェクトに係る報告とお願い

日頃からの西日本区メネット事業に対する皆様のご協力に感謝いたします。

ご承知のとおり、今期のメネット事業国内プロジェクト「希少難病理解と支援」に係る10月1日の京都新聞記事は、全く思いがけないものであり、皆様にも大きな動揺とご心配をおかけし、残念この上ないことであります。

西日本区としても、すぐさま事情確認等をし、10月2日の緊急報告に続き、10月29日には部長の皆様を通して理事見解をお示したところではあります。

これに基づき、11月8日(土)・9日(日)の「西日本区第2回役員会」において、メネット事業主任から「第5号協議 今期メネット事業国内プロジェクトに係る事業計画等の見直しについて」が提出され、熱心なご意見・ご指摘をいただいたところではあります。

その結果、希少難病の理解と支援にスポットライトを当てた今期メネット事業については大方のご評価をいただく中、以下3点の議案動議がそれぞれ可決されました。

1. 今後の啓発活動については、ユニバーサルフィールド、SORD両団体の講師採用はやめて、他の適切な団体等を探して講師に用いる。なお、希少難病患者としての中岡亜希さんを個人として講師に招くことは排除しない。
2. 献金先については、ユニバーサルフィールド、SORDには献金しないこととし、適切な研究者・研究機関をメネット事業委員会、常任役員会において精査・協議して決定する。
3. 献金活動については、今後も継続してお願いしていくものとする。

これは、10月29日の理事見解と概ね相違ない内容であったと考えております。

もとより、これまでの活動により、希少難病に対するワイズメン及びメネットの皆様のご理解と支援の必要性が深まってきたことは言をまたないところであり、せつかくのこの事業を中断すべきではないと思料いたします。

上記3点の方向に基づいて今期メネット事業を最後まで行ってまいりたいと存じますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

2014年11月24日

西日本区 理事 松本 武彦
メネット事業主任 西村 寛子



【 第18回西日本区大会のホームページ <http://jw2015.com/> 】

◇ 次期会長・主査研修会の日程が変更されました

「西日本区行事予定」では、次期会長・主査研修会は3月21・22日となっておりますが、3月7・8日に変更になりました。関係各位にはご迷惑をお掛けすることとなりますが、ご理解の程、宜しく願いいたします。ここにお詫びと訂正を入れさせていただきます。

◇ 国際選挙に関するお願い

本年も「国際選挙」の時期が参りました。既にクラブ会長には投票用紙及び日本語訳資料が届いていることと思います。以下の方々の選挙が行われます。

2015-2016 次期国際会長・2015-2018 国際会計

2015-2016 次期国際議員・次期アジア会長/2016-2018 国際議員・アジア会長

お手元にお届けしたオレンジ色の投票用紙を必ず使用していただき、同封の日本語訳を参考にして記載・投票して下さい。尚、送り先のシールを添付した封筒を同封していますので、ご利用下さい。各部、各クラブの英文表示一覧をこの書面の裏に記載しています。ご参照下さい。

※重要 12月末迄に必ず投函、もしくは FAX・E-mail (elections@ysmen.org) にてお送り下さい。早いほど結構です。

郵送の場合は、送り先シールを添付した封筒に110円切手をお忘れなく貼って下さい。100%の投票率を期待致しております。必ずご投票下さい。疑問点や不明な点は西日本区事務所に遠慮なくお問い合わせ下さい。



◇ 後期「半年報」ご提出のお願い

半年報は、西日本区の現状を把握する基礎資料であり、区費や負担金等の算出基礎となる重要な資料となります。各クラブ会長は下記の点にご注意の上、提出期限厳守で所属する部長までご提出ください。

①記載内容の期日：1月1日現在

②提出期限と提出先：1月10日までに所属する部長まで

12月中旬頃に後期半年報のご案内を「半年報」用紙添付の上、クラブ会長にさせていただきます。また、西日本区ホームページ (<http://www.ys.x0.com>) の資料庫からPDF、Wordデータともにダウンロードできます。ご協力を宜しくお願いいたします。



12月25日(木)～1月4日(日)の間、休ませていただきます。

1月5日(月)、初出となりますので宜しくお願いいたします。

理事通信への掲載

「クラブの周年行事」や、「クラブ事業」などを西日本区の皆さまにお知らせしたい時は理事通信をご利用下さい。毎月25日までにメール文章で、理事事務局宛お送り下さい。

理事事務局 長 石津雅人 (大阪センテニアルクラブ)

E-mail : osaka@m-ishizu.com

